



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「事業部門と研究開発の両輪で」 理事 石田紘三

掲記はこの2月に開催された会員意見交換会で話し合われた大きなテーマである。
 SEFは発足以来約10年たち、正会員30名を越える規模となっており、各部門でそれぞれの実績を残してきた。この中で①事業収入は数年前をピークに漸減し低迷気味であるが、この先どう進めるべきか。②コミュニケーション研究会、SEFサロンを中心とした研究開発部門の更なる発展はどのようにあるべきか、③発足10年でSEF会員の体質も発足当時とは大分変わってきた。少し軌道修正も必要か、等々活発な意見が出された。
 SEF会員の高齢化が見られるのも事実で、少し若返りを図る中で「事業部門と研究部門は車の両輪」、SEF発足時の理念にもある「相互啓発を図りながら社会貢献をしてゆく」楽しい集団でありたい、と言う事の確認がこの意見交換会の結論であったと思っている。

01月度理事会より (第118回 02月26日)

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 第12期事業計画策定の件／審議・大綱決定 | 4. 平成25年01月度会計収支報告／報告・了承 |
| 2. 事務局事務引き継ぎの件／報告・了承 | 5. H24年度決算見込み／報告・了承 |
| 3. 新事務所固定電話設置と連絡手段／報告・了承 | (理事会終了後、H25年2月度会員意見交換会を開催) |

事業報告 「教育・研修事業部」成行と今後 担当役員 石田理事

教育・研修事業部は職業大(職業能力開発総合大学校)の非常勤講師受託が主な事業であったが、同校は一昨年より実態が大きく変わってきており、同様な事業の継続は難しくなっている。今年度はシーケンス制御実習の1件のみが実績となった。
 一方、海外での実務教育の需要が出てきているので、SEFの特長を生かした取り組みをして行きたいと考えている。事業案件減少の傾向は産業、環境業務支援グループも実態としては略同様であり、3事業部一体となり新規開拓に努力して行くことを確認している。
 昨年11月より、当事業部と産業業務支援事業部及び環境業務支援事業部の3事業部と一緒に事業部会を開催することになった。これは各事業部員が他の事業部の活動状況を知り自部門の活動のヒントになると共に、部員が1部門だけでなく、他部門にも活動範囲を広げることが出来るのではとの考えである。そこでの議論の中で、部員は毎月1アクションの活動をし、報告をすることになった。活動は販売・技術支援など実際の実務もあるが、学校、展示会、異業種交流会、他のNPOなど関係する会社、団体への活動、HP・Face bookなどインターネットを使った活動もある。また事業にはすぐには繋がらないが、元の会社、同窓会などの友人、後輩に面談、メールなどでSEFのことを知ってもらおう活動もある。これらの活動から支援テーマが出てくるのではないかと期待している。

SEFサロン 第75回 案内 担当役員 白崎理事

2月のSEFサロンはお休みで、次回のサロンは下記の通り3月に第75回を開催予定です。
 日時：2013年3月27日(水)18時 場所：青学会館内・レストラン「フィリア」
 講師：武田 朴氏 東京工科大学 医療保険学部 臨床工学科教授・元日本光電工業
 演題：「細胞と医療」
 武田氏は長年、医療機器開発に携わってこられました。今回は最近はやりの再生医療をとりあげ、「工学的に臓器を作る研究と動物を利用して人の臓器を作ろうとする研究」と、「がん診断をDNA量の分布で行う研究」のお話をさせていただきます。最新の、かつ興味深い話題と思いますので、是非ご参加ください。

02月度会員動向

正会員入退会 ナシ	02月末現在の会員数	正会員—31名
準会員入退会 ナシ		準会員—34名
		賛助会員—2社